

第2期米沢市教育振興基本計画（案）に係るパブリック・コメントの結果

1 募集対象計画等

第2期米沢市教育振興基本計画（案）

2 募集期間

令和8年1月20日(火)～令和8年2月9日（月）

3 意見の提出者数及び件数

提出者数 2者／提出件数 12件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

第2期米沢市教育振興基本計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	第3章 1 基本理念・ 基本方針 ■基本理念	14	教育の原点である「学び」を焦点化し、自らが学びによりしあわせになり満たされると、人とのつながりが生まれ、そのことが社会にも連鎖していくという循環の考え方に共感しました。この理念に基づいた教育が実践されることにより、しあわせである時はもちろん、しあわせでない時もあることを認めた上での好循環を目指していきたいと思いました。また、後段で述べられているように、すべての人が忘れられず、認められる教育活動が展開されていくことを望んでいます。	本計画の基本理念及び基本方針の実現を目指し、各施策を着実に推進し、本市の将来を担う人づくりに取り組んでまいります。	無
2	第3章 1 基本理念・ 基本方針 ■基本方針1	15	少子化が進む現在、親や祖父母の過保護、過干渉により、手をかけられすぎている子どもが育つ傾向があると感じています。大人が前に出るのではなく、子どもが自ら考えて、自ら判断して行動し、成功と失敗を積み重ねることが大事だと思います。こういう経験なくして人は育ちません。米沢の子ども達が、成功体験と失敗体験を積み重ねる中で、周りの人につながる大切さを感じ取り、可能性を信じて挑戦していく人になっていくことを願ってやみません。	本計画の基本理念及び基本方針の実現を目指し、各施策を着実に推進し、本市の将来を担う人づくりに取り組んでまいります。	無
3	第4章 基本目標1 施策1-1	18～ 20	自主性(やるべきことを自分で管理できる力)、主体性(自ら課題を見出し行動を起こす力)の養成・育成が今最も必要とされる時代。 認知能力(読み書き計算などの知能(頭の良さ))と合わせ、昨今話題の非認知能力(やり抜く力、意欲、社会性(協調性・共感性)、自制心)など「心の力、行動の力」が養える様	教育の目的は、単なる知識の習得や伝達だけではなく、主体的に粘り強く学び続ける力や、周りの人と協力しながら問題を解決する力等を育むことにあります。そのため、教育の現場において、児童生徒の粘り強さや協調性等といった「非認知能力」を育むことは重要なものであると捉えております。今後も、教員	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
			<p>な教育の質・教師の質の向上を図ってほしい。山形大学教育学部(R8 年度より開設)の力を借りながら是非実現してほしい。</p> <p>米沢市における昨今話題、小児科医の不足解消にもつながっていく事項につき、全体の教育の質向上を図ってほしいと考えています。</p>	<p>の専門性を高めるための研修の充実や、外部機関と適切に連携を図りながら、本市教育の質の向上に努めてまいります。</p>	
4	第4章 基本目標1 施策1-2	21	<p>R8 年開校の南成中学校の施設整備事業費が材料費の高騰等で、大幅予算超過している中、東成中学校については、先送りしても良いのではないかと考えています。</p>	<p>少子化の進行により中学校の小規模化も深刻さを増しており、多様な人間関係の形成の機会を創出し、子ども達の学校教育環境と教育の質を確保するために統合を進めることが急務となっています。</p> <p>昨今、人件費や物価高騰が著しい状況はありますが、最適な学びの環境を整備することは、将来を担う子ども達の成長に大きく寄与するものであり、慎重に検討する必要があると考えております。</p>	無
5	第4章 基本目標1 施策1-2	21	<p>第一中学校区と第七中学校区の統合の合意形成については、種々の問題点を整理した中で進めるべきと思います。</p>	<p>中学校の再編統合を進めるにあたっては、閉校する中学校の校区ごとに、学校を支援していただいているPTA、教育後援会、地域の各代表の方々及び中学校教職員で構成する地元代表者協議会を開催し、閉校に伴う心配や不安な事柄、期待すること等を話し合ってもらい意見書として取りまとめたものを教育委員会に頂戴することとしております。</p> <p>その後、地元代表者協議会と同様、PTAをはじめとした関係者の皆様で構成する東成中学校開校準備委員会を設置し、地元代表者協議会からの意見書の内容を踏まえながら開校に向けた準備作業を進めていくこととしており、その過程で、様々な課題について検討されることとなります。</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
6	第4章 基本目標1 施策1-2	21	置賜地区への中高一貫校の設置については、山形県の意思決定の促進を図っていただきたい。	中高一貫教育校は6年間の計画的・継続的な教育活動、幅広い年齢集団による豊かな人間の育成といった特徴を持った特別な教育機会であり、そのような教育機会を選択できるよう、東南置賜地区の県立高校の再編整備に併せて、本市に併設型中高一貫教育校を設置することを県に要望しているところです。	無
7	第4章 基本目標1 施策1-2	22	置賜地区の部活動の地域展開については、親の負担が大きくなる懸念があり、適切な助成金等の創設を検討いただきたい。	部活動の地域展開を進めるにあたり、参加しやすい環境づくりは重要であると認識しております。市としては、一定の基準を設けて認定したクラブに対し、学校施設の減免での使用を認めるほか、学校が保有する部活動の道具の共用を可能とするなど、保護者の負担が少しでも軽くなるような仕組みづくりを進めてまいります。また、クラブ運営に対しては一定額の財政支援も行い、可能な限り低廉な会費で参加できるよう、市としても支援してまいります。	無
8	第4章 基本目標1 施策1-2	22	スポーツ・文化活動の場の整備と活動の充実については、例えばモンテディオユースチームの誘致等具体的な項目の設定をお願いします。	令和8年9月からは、中学校の休日の部活動は原則として学校では行わず、地域での活動へと移行する予定です。現在は、各連盟・協会を中心に、中学生が活動できる場を整えていただいております。専門的な指導者による質の高い指導のもと、充実した活動が行われています。子ども達が引き続き安心してスポーツ・文化活動に取り組めるよう、市としても場所の確保、学校が保有する道具の提供、財政的な支援などを行い、地域での活動をしっかり支えていきたいと考えています。 例示いただきましたプロサッカーチームのユース年代のチーム誘致は、本市のスポーツ振興に寄与す	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
				る可能性があります、実現には多岐にわたる側面からの検討が必要と考えます。また、子ども達のスポーツの場や活動の充実、誘致だけでなく、米沢のリソースを活用した体制整備も重要であると捉えています。	
9	第4章 基本目標1 施策1-2	22	ますます米沢地区の運動部の劣勢加速が予測できるので、地区クラブチームに一任するのではなく、行政としてもしっかりとサポートいただく体制づくりを望みます。	部活動の地域展開は、子ども達が専門的な指導を継続的に受けられるという大きなメリットがあると捉えています。子ども達が継続して、充実したスポーツ活動に取り組めるよう、「米沢市における部活動及び地域クラブの在り方に関する方針」と「米沢市スポーツ挑戦文化創造クラブ設立の手引き」を作成したところであり、市としても地域クラブ認定制度の導入、指導者講習会の開催により、クラブチームの体制づくりに関わっていきます。また、学校施設の使用料減免や部活動で使用している道具の共用、さらに指導者謝金に係る財政的な支援も行っていきたいと考えています。 地域クラブの運営が安定し、子ども達が安心して参加できる環境を整えることで、地域全体のスポーツ活動が後退することのないよう取り組んでまいります。	無
10	第4章 基本目標1 施策1-2	22	柔道場及び剣道場など各地区には、冷暖房完備施設があるようですが、米沢市としての整備計画を是非お願いいたします。	本市では、中学校の屋内運動場に空調設備を設置するため、令和8年度に設計業務を行う予定です。 また、南成中学校の柔道剣道場には、空調設備が設置されます。 これらのことを踏まえ、記載内容を修正します。 【修正(22ページ)】	有

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
				(8) 学校施設の整備の推進 ・小中学校の再編統合を見据えながら、 <u>屋内運動場等への空調設備の整備を含めた学校施設の改修</u> を推進するとともに、予防保全による維持管理を的確に実施し、安全・安心な教育環境を整備します。	
11	第4章 基本目標1 施策2-1	25～ 26	地域づくり、地域の課題解決法のワークショップについて、県外者を招致しての活動がメインとなっていますが、地域直結型の人材の掘り起こしを是非お願いしたいと考えています。	地域づくり等のワークショップにおいては、地域の事情に精通した地元の講師による講座などを、市民を対象に開催しています。 なお、講座によっては、地元以外の講師を招いて開催しているものもあります。そうした講座は、講師と参加者との交流を通して、地域住民にはない新たな視点や価値観を共有できるよい機会であると捉えています。	無
12	第4章 基本目標1 施策2-1	25～ 26	地域おこし協力隊について、まだまだ市民との触れ合い事業等が少なく、研修発表会への市民参加を検討いただきたい。	研修発表会については、概ね2か月に1度、活動報告会を開催し、また、3月には1年間の活動内容を紹介するパネル展を開催しております。 これらの活動については、SNSを通して市民の方へ周知しているところです。	無